第２学年　道徳科学習指導案

１　主題名　　きまりを守る　　　【　C－10　遵法精神、公徳心　】

２　教材名　　試合からの帰り道　　出典「明るい人生２」

３　本時の指導

（１）目　　標

主人公の明美の心情の変化を考察する活動を通して、きまりの意義を理解し、集団におけるきま

りや規律を大切にしようとする態度を高める。

（２）準備・資料

・　教師：ワークシート、プロジェクター

（３）指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階  時間 | 学習活動　　主な発問  ・予想される生徒の反応 | ・留意点　（支）支援　　◎言語活動 |
| 方  向  づ  け  5  分 | １　朝寝坊をして遅刻しそうなときに「赤  信号」でどうするか考える。  　・　信号無視はいけないことだから、ど  んなことがあっても渡らない。  　・　今日だけは仕方がないと思って渡る。  きまりを破りそうなときに、何を考えればいいのだろう。 | ・　ねらいとする価値の関連事項を日常生  活の経験から想起させる。  ・　「どうしても遅刻できない入試のとき」  や「誰も見ていないとき」など生徒がき  まりを破りそうになる条件を追加する。 |
| ね  ら  い  と  す  る  価  値  の  追  求  ・  把  握  35  分 | ２　範読を聞き、明美のきまりに対する捉  え方を確認する。（個人→一斉）  ３　バレー部にきまりがある理由を考え  る。　　　　　　　　（個人→一斉）  ○　バレー部にはなぜきまりがあるの  でしょうか。その理由を書いてみま  しょう。  　・　集団で行動するためにはきまりが必  要だから。  　・　きまりを作ることで秩序やまとまり  　　をつくるため。  ４　明美がきまりを破らずに済んだ理由を  話し合う。  (1) 自分の立場に置き換えて考える。  （個人→一斉）  ○　きまりを守ることがばかばかしい  と思い始め、アイスクリームを食べ  ようか迷う明美。明美のことをどう  思いますか。また、そう考えた理由を  書いてみましょう。  ［共感度］  　 　　　　0　　　　　　　　　　100％  (2) 弟に会ったことによって、明美が何を  感じたのかを考える。  ○　明美は弟にどんな気持ちで「ごめ  ん、ありがとう」と言ったのでしょう。    (3) ４人グループで話し合う。  (4) 学級全体で話し合う。  ［ごめん］と言った気持ち  ・　きまりを破って「買い食いしよう」と  誘ってしまってごめん。  　・　自分のことばを大切にしてくれてい  た弟のことを裏切ってしまいそうにな  ってごめん。  　［ありがとう］と言った気持ち  　・　きまりを破りそうになったところを  止めてくれてありがとう。  　・　自分がきまりを守ってきた理由を思  い出させてくれてありがとう。  ６　きまりを破りそうなときに、何を考え  ればいいのかを考える。（個人→一斉）  ○　きまりを破りそうなときに、何を考  えればいいのだろう。  ・　きまりを破った後にどのようなこと  が起きるのかを考える。  ・　自分が嫌な思いをするかもしれない  という気持ちをもつ。 | ・　主人公の明美の葛藤する気持ちに共感  できるようにするために、十分な時間を  確保する。  ・　「きまりを守ること」、「きまりを破るこ  と」を考える前に、なぜきまりがあるの  かということを考えることを通して、き  まりの必要性を捉えさせる。  ・　きまりがあったからよかったことや助  かったことを思い出して考えてみるよう  に伝える。  ・　「きまりを守ることをばかばかしい、破  っても構わない」という心情であること  を意識させて、考えさせる。  ・　思考の数直線（0％・20％・40％・60％  80％・100％のうちから選択）を用いて、  自分の立場を明らかにした上で、なぜそ  の考え（立場）にしたのか、その理由も書  くように助言する。  ・　机間指導をしながら、書き終わった生  徒には黒板に名札カードを貼付するよう  に声をかける。  ・　全員が名札カードを貼付したら、指名  した生徒に理由を聞きながら発表させ  る。  ・　明美が弟に「ごめん」と言った気持ちと  「ありがとう」と言った気持ちをそれぞ  れ考えさせる。  ・　日頃の明美と弟の関係を踏まえて考え  させる。  ◎　級友の考えに対して疑問に思ったこと  は、積極的に聞くように助言する。  ・　自分とは異なる考えであっても否定せ  ず、肯定的に受け入れさせる。  ・　グループの意見をまとめさせない。  （支）自分の意見がもてない生徒には級友  の意見を聞いて共感した考えを自分の  考えにしてよいことを伝える。  ◎　きまりを守ることの本質が考えられる  ようにするために、できるだけ多くの生  徒に発表させる。  ・　「ごめん」と「ありがとう」と同時に言  った明美の心情の変化と弟に会う前後で  のきまりに対する捉え方が変わっている  ことを確認する。  ・　きまりを破ると自分にとって不都合な  ことが多々起こることを想起させ、きま  りを守ることは、自分のことを守ること  につながることに気づかせる。  ・　導入でもたせた課題に対する、自分の  考えをまとめさせる。  ・　これからの日常生活の中で、きまりを  破りそうになったときには、きまりを破  ると、自分にどのようなことが起こるの  か、どのような気持ちになるのかをイメ  ージすることが必要であることを伝え  る。 |
| 終  末  5分 | ７　本時の感想をまとめる。 | ・　級友の考えから学んだことやこれから  の生活に生かしていきたいことなど、授  業を振り返って書くように助言する。 |

（４）評価

　　　　明美の心情・きまりに対する考え方の変化やクラスの話し合いを通して多様な考え方に触れ、

どのように行動することがきまりや規律を大切にすることになるのか考えることができたか。